

2016-2017年度RI会長 ジョン F ジャーム
2016-2017年度第2770地区ガバナー 浅水 尚伸
2016-2017年度大宮ロータリークラブ会長 橋本 和久

「人類に奉仕するロータリー」
「楽しいロータリークラブを作り上げよう」
「奉仕と親睦、新たな一歩を踏み出そう」



会員の皆様本日も例会参加ありがとうございます。先週はお彼岸と言う事で休会でした。我が家も春のお彼岸、お盆、秋のお彼岸は欠かさずお墓参りに家族揃って出向きます。先週のお彼岸も22日のお中日には母が作ったおはぎを食べ、揃ってお墓参りに行きました。お墓参りと言う思い出するのは子供の頃「お墓では転んではいけないよ！ 転ぶとご先祖様に連れて行かれちゃうよ」なんて恐ろしい事を言われた事。だいたい家族全員で行くと子供ははしゃぐわけですよ。こんな都市伝説みたいな事で戒められた事は他にも沢山ありましたよね。またお墓参りでは定番のお楽しみ、墓石の水かけ。これも子供にはたまらない水遊びなんですね。我が家の2人息子も幼少の頃、競って「僕がやるやる」といつもけんかになっていた事を懐かしく思い出します。しかしこれにも意味があるようです。仏教の教えでは、死後の世界の1つに「餓鬼道」というのがあって、そこに落とされた餓鬼はなかなか水が飲めない。唯一お墓にかけたお水だけが飲める。その餓鬼をあわれんで、お水を与えようと言うところから墓石に水をかける習慣が始まったそうです。みなさんのお宅のお墓参りには、どんなエピソードがごありでしょうか？

本日は10月23日に我々が始めて行きます東北奉仕「大宮ロータリークラブ旗争奪 石巻東部地区野球スポーツ少年団秋季交流大会」の支援先であります石巻より阿部様をお迎えし、東日本大震災発生から5年経過した石巻の現状や子供達の様子をお話し頂きます。この新しい奉仕活動は「奉仕と親睦、新たな一歩を踏み出そう」の方針の下、地区でもまだまだ推奨されています東北に対する奉仕活動であります。支援致します今大会の運営は、全てを地元の子供達が行います。ロータリーの青少年育成にも合致します。今回の奉仕活動を通し、ロータリーでしか経験できない体験や感動を皆様にお伝えしたいと思っております。具体的な支援は地区補助金を使い、優勝旗の贈呈、参加賞として参加30チームへバットケース贈呈、各チームの敢闘賞もしくは最優秀選手へ地元石巻出身、西武ライオンズエース岸投手のサインボールの贈呈が主になります。当日は被災地見学も企画しております。あらためてあの震災が我々に教えてくれた事を今一度思い返す機会にしたいと思えます。本日の阿部様の生の声もお聞き頂き、ぜひ多くの会員のご理解ご協力で石巻に行きたいと思えます。本日も最後までお付き合いよろしくお願い致します。

宮城県スポーツ少年団野球協会理事
同石巻支部長
鹿妻・小鹿クラブスポーツ少年団最高顧問

阿部 日出喜 様



野球で再確認した絆・本気・感謝

本日このようなお時間をとって頂きました事に大変感謝申し上げます。私の「ずうずう弁」が伝わるか否か少々不安です。今回の経緯は昨年8月浦和学院、車谷様のご紹介で橋本会長と星野幹事様に始めてお会いしてからです。その後12月の「第2回浦和学院イン石巻野球フェスティバル」開催時、当地区の石巻東RC森山会長とも面識を持って頂き、本年8月には三度お逢いさせて頂きこのようにご講演させていただくはこびとなりました。

本日のテーマ① 感謝の気持ち

私ども鹿妻・小鹿クラブは浦和学院様から多くのご支援を頂き、その後も交流活動へと発展させて頂いております。震災後練習場所を失っていた我々でしたが、震災の年の12月9日に学校にご招待頂きました。その時の感動は今も忘れられません。12月8日18:30に石巻を出発し、23:20に浦和インター着、高速道路を降りた瞬間、私は目を疑いました。日付が変わる時間帯にも関わらず、カーブというカーブに「浦学」のジャンパーを着た方が立っていて我々を出迎えてくれました。次の日には朝から吹奏楽部やソングリーダー部の歓迎セレモニーに子供達は満面の笑み、大人たちは感動！感動で全員で涙しました。本物の高校野球の練習に感心させられたり…夜には震災で行えなかった我々の卒団式も行わせて頂きました。

次の日にはメインの練習場で浦学のお兄ちゃん達とキャッチボールにノックにと、春の甲子園出場があるであろう部員達が子供達を同じ野球人として接してくれました。



この3日間の「本気のおもてなし」を受け私は日本人に生まれてよかった、命があってよかった、と強く思いました。その後の春の甲子園にもご招待頂きました。地元石巻工業高校が21世紀枠で出場、選手宣誓はなんと当団の卒業生。偶然なのか必然なのか、開会式当日に浦学の試合も見ることができました。と言っても涙で目の前のオーロラビジョンは見えない状態でしたが…

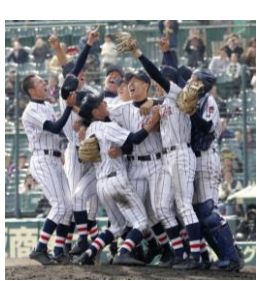
次の年の第85回記念大会では浦学優勝の瞬間を見届ける事ができ、真紅の優勝旗も間近で見る事が出来ました。

本日のテーマ②石巻支部の現状

次に宮城県スポーツ少年団石巻支部への登録数ですが、震災前56団体から震災後37団体へ、人数も1117名から590名と減少しております。私達の鹿妻・小鹿クラブも単独で成り立たなくなり、牡鹿ブルーオーシャンと統合しました。



- 創立: 昭和30年12月2日 ● 例会日: 毎週水曜日 12:30~13:30 ● 会場: パレスホテル大宮
- 事務局: 〒330-0802 さいたま市大宮区宮町1-95岩井ビル2-2階 ● TEL: 048-645-0130 ● FAX: 048-647-1714
- E-mail: o-rotary@bz01.plala.or.jp ● HP: http://www.oroary.hs.plala.or.jp/



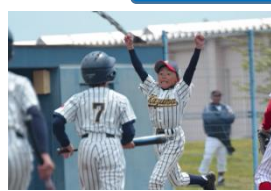
これは震災の影響です。また震災後の団活動においても厳しく指導する事はできなくなりました。これは学校の運営もしかりです。私の住む栄田地区では子供の声がいぶぶ少なくなったように感じますし、海の近くで釣りなどをして楽しむ家族連れを見る事も極端に減りました。震災から5年経った今でもあまり変わらないように感じます。

本日のテーマ③被災者としての体験

震災の日、私は石巻市場の仕事で11時頃まで岸壁にいました。午後は風邪気味の為病院へ、その時地震に見舞われました。自宅に帰り直ぐに荷物をまとめ、妻と逃げました。しかしまもなく津波にのまれました。私は幸いある家の2階に、妻は流木に必死につかまりそれでも泳ぎが得意だったのですぐ隣の物置の上に2匹の犬と共にたどりつけました。全財産の入ったバッグは妻が作った皮製でしたので、その場に沈んでいて見つける事ができました。当時入院していた妻の母は後に震災関連死という形で亡くなりました。しかしもしおばあちゃんが家に居たら妻も私もおばあちゃんも津波で命を失っていたと思います。今も毎日仏壇に手を合わせる事ができるのも生きているから、命があるからです。当時当団の4年生は祖母と一緒に避難の途中流され、目の前から祖母が見えなくなったと...卒団生の高校1年生はやはり祖母を助けに行き命を落としました。教え子の死はとても悔しいです。この様に一度非難したにも関わらず、大切な人や物を探しに戻り帰らぬ人となった方が大勢いらっしゃいました。震災直後、我々の活動場所でもあった鹿妻小学校は自衛隊の炊き出し、お風呂支援の拠点となりましたが、5月には活動を開始する事ができました。元々団の活動自体、学校や地域のコミュニティー創りに貢献してきた経緯もありましたのでスムーズでした。



結びに



石巻東部地区野球連絡競技会では、17年前より卒団間近の6年生に向けて「さよなら大会」を開催してきました。この大会は卒団生の思い出創りと自主性の育みを目的とし、キャプテンに運営の一切を託しています。

この様な大会に優勝旗、準優勝杯、並びに多くの記念品等を贈呈頂ける事は大変ありがたく、誠心より感謝申し上げます。

当時、当団の5年生だった阿鳳希君は、浦和学院から招待を受けた時の印象が強く、この学校で野球がしたいという目標を持ち続け、努力を重ね、今年見事に入学を果たし、硬式野球部で頑張ってくれています。このように、私達の故郷、石巻で生まれ、育った子供達が夢を叶え、巣立っていく様は何物にも代えがたい喜びであります。一言で言いますと「東北を忘れないでほしい」この事を傳承していきたいと思っています。大宮ロータリークラブ様から頂きましたご支援が、子供達の夢や希望となり、更にはロータリーの精神を受け継ぎ、様々な分野で活躍する日が来ることを願っております。最後に大宮ロータリークラブの益々のご発展と、皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げます結びと致します。ご清聴ありがとうございました。



編集後記

阿部様ありがとうございました。日本人として、また関東人としてあの震災は絶対に忘れてはならない事と思っています。何度か石巻にお伺いしましたが、東北の人達の強さと明るさ、そして優しさに感銘を受けずにはいられません。10月23日はどうぞよろしくお願い申し上げます。 橋本



阿部日出喜様卓話ありがとうございます。

浅野仁 石井宣子 岩井良彦 祝原英隆 遠藤省吾 小川和信 小林憲樹
櫻井義久 進藤博司 高山利弘 竹内裕司 徳山義行 中川高志 橋本和久
星野晃一郎 三浦守 森正志 山中庸彦 山本和保

石井会員司会ありがとうございます。

今井雄一 岩田尚明 川島利雄 中川高志 橋本和久 星野晃一郎 本多隆

大宮RC初の女性司会、素敵な声でいいものですね。

ネールさん、傳さんようこそ！

傳 煥翔さんいつも元気で頑張っていますね。

お客様ようこそ。

10月4日の千日会参加よろしくお願ひ致します。

10月23日の東北奉仕、多くのご参加お待ちしております。

3回目の出席です。今後ともご指導の程よろしくお願ひ申し上げます。

赤城山トレッキングきつかったですね。参加者の皆様、筋肉痛はいかがですか？

田村さん、本多さん、岸さん、山頂での温かいおもてなしに感謝申し上げます。勉強になりました。

橋本年度も1/4が過ぎました。この調子でガンバって下さい。

奉仕プロジェクト委員長三浦さん先日は大変ご馳走様でした。

パレスのお料理がおいしく感じます。ありがとうございます。

キャンピングカーでめぐるグランドキャニオン10日間の旅！無事帰国致しました。

キンモクセイが香る秋になりました。千日会参加させていただきます。よろしくお願ひ致します。

暑さ寒さも彼岸まで。やっと良い陽気になりました。

本日も例会出席ありがとうございます。

大瀧榮壽 大竹敦 齋藤守毅 関口茂 星野晃一郎

戸井田修

橋本和久

佐久間悦代

洪木理俊

福島謙二

岸聡

橋本和久

星野晃一郎

平田繁

小川武士

兼杉涼二

橋本和久

本日の合計金額 48,000

本日までの累計金額 802,000

次回例会案内 第3019例会 2016年 10月12日 12:30
日比谷松本楼 代表取締役副社長 小坂 文乃 様

本日のランチ
和食「季秋弁当」

当日	例会	会員数	出席率
9月28日	第3017例会	66名(64名)	41名 63.08%
前々回	例会	メイクアップ	修正出席率
9月7日	第3015例会	10名	79.69%



ごちそうさまでした...



スマイル 大竹会員

司会 石井 会員

出席 傳 煥翔 さん